令和８年度　静岡県立沼津城北高等学校　第１回　学校運営協議会　議事録

１　開催日時　令和８年４月 21 日（火）10 時 00 分～11 時 30 分

２　開催場所　静岡県立沼津城北高等学校　会議室

３　出席者

（委員）　津賀　由布子、横山　仁、海瀬　純、杉山　寛隆、渡邉　一浩

（学校）　校長　熊谷　仁、副校長　武田　孝之、教頭　秋永　能宏
事務長　水越　しのぶ

４　委嘱状交付

５　自己紹介

６　授業参観

７　静岡県立学校における学校運営協議会設置要綱等について

８　会長選出　横山　仁　様に決定

９　校長挨拶、令和８年度経営計画について

・本年度着任
・全校生徒 209 名でスタート、規模は縮小しているが生徒は活気にあふれている。
・小集団だからこそできる教育活動を「強み」としてとらえていきたい。

10　意見交換

委員Ａ：中学校では、部活動の体制が変化しているが、沼津城北ではどのような体制か、部活に代わる何かの選択肢を用意しているか
学校側：部活動は、任意加入となっている。学校独自で部活動以外の選択肢を用意はしていないが、自習室の開放やアルバイトの要件緩和などをしている。
委員Ａ：部活動を指導しているのは、教職員か、外部指導員か。
学校側：基本的に教員が指導している。専門的な知識を持った職員ばかりではないので、外部の方にコーチをお願いしている場合もある。
委員Ａ：今後大規模な改修や整備の予定はあるか。
学校側：今年度特に予定はない。
委員Ａ：県立高校は、経営方針に県の意向が大きく反映されるのか。
学校側：県の「教育大綱」や基本計画がベースとなっているが、学校独自に特色を出していくことは可能。
委員Ｂ：ＩＣＴの活用について、遅れているような印象だったが、授業を見学して、活用が進んでいると感じた。今後も重点的に力を入れていくのか。
学校側：ＩＣＴは今後も推進していく。情報技術が進歩しているのでアンテナを高く持っておきたい。
委員Ｃ：広報活動について、他校に比べＳＮＳの更新頻度が少ないと感じている。活動の様子を定期的に上げることで学校を知ってもらう良い機会となると思う。
学校側：今年度の成果目標にも更新回数の増加を掲げているので取り組んでいく。

委員Ｄ：性格診断検査を実施しているようだが、どのような活用をしているか。チーム編成やコミュニケーションに生かせると感じた。また、教室を見学して、机の天板が狭く感じた。生徒が少ないのであれば空き教室の活用やレイアウトの変更など生徒も一緒に考えてはどうか。
委員Ａ：生徒が何を望んでいるかアンケート等で聞いているようであれば、共有してもらえば、一緒に考えやすい。
委員Ｅ：受験の成功も大切だが、社会に出て協調して働くための力が少人数だからこそ育めるのではないか。
学校側：貴重な意見をいただいたので、運営に反映できるように考えていく。

11　本校の学校運営状況について

・沼津特別支援学校愛鷹分校との交流について
・令和７年度部活動結果について
・令和７年度進路先の状況報告

12　事務連絡

・次回は、10 月頃の実施を予定している